

# 目次

	頁
第1章. 序論	1
第2章. 関係各国における陸域からの汚濁負荷流出・海洋環境に関する情報収集結果	8
2.1 関係各国における陸域からの汚濁負荷流出に関する情報	8
2.2 関係各国における海洋環境に関する情報	9
2.2.1 海洋海流シミュレーションモデルの調査情報	9
2.2.2 近隣諸国の影響評価モデルの適用検討調査情報	9
2.2.3 日本近海の海洋環境調査に関する情報	10
第3章. 陸域からの汚濁負荷シミュレーション	12
3.1 陸域からの汚濁負荷シミュレーションの構築手法	12
3.1.1 陸域からの汚濁負荷モデル構築にあたっての基本的考え方	12
3.1.2 陸域からの汚濁負荷モデル構築に係る各種使用データ	14
3.1.3 水系のブロック分割について	14
3.1.4 陸域からの汚濁負荷モデル計算に用いたフレーム	17
3.1.5 陸域からの汚濁負荷モデルに使用した原単位	25
3.1.6 利水状況による消失率の設定（中国）	39
3.1.7 消失率の考え方（中国）	40
3.1.8 降水量の河川への流出率（中国）	41
3.1.9 面源系負荷量の補正（日本・韓国・ロシア）	41
3.1.10 負荷量算定方法のまとめ	47
3.2 陸域からの汚濁負荷モデルを用いた汚濁負荷量算出結果	48
3.2.1 現況解析結果	48
3.2.2 海域別流達負荷量	65
3.2.3 観測負荷量との比較	66
3.3 将来シナリオを考慮した汚濁負荷シミュレーション	69
3.3.1 経済成長等を考慮した将来シナリオの設定	69
3.3.2 将来フレーム値の設定	70
3.3.3 将来シナリオを考慮した汚濁負荷流出量	88

第4章. 海洋海流シミュレーション	100
4.1 モデルの概要	100
4.2 流動モデル	100
4.2.1 モデルの格子分割	100
4.2.2 基礎方程式	101
4.2.3 モード分割	103
4.2.4 計算範囲の水平格子分割と水深分布	105
4.2.5 鉛直層分割	106
4.2.6 入力条件の時間変化	107
4.2.7 境界条件	113
4.3 水質モデル	119
4.3.1 格子分割	119
4.3.2 モデル構造	119
4.3.3 計算項目	119
4.4 海洋海流シミュレーションの全体のスキーム	123
4.5 現況の海洋環境に関する計算	124
4.5.1 流動計算	124
4.5.2 水質計算	137
4.6 将来シナリオを考慮した海洋海流シミュレーション	149
4.6.1 沿岸域における水質変化	149
4.6.2 将来シナリオを考慮した海洋海流シミュレーション結果のまとめ	170
第5章. 国際会議の概要	185
第6章. 関係諸国間の研究パートナーシップの概要	188
第7章. まとめ	190
参考資料	191